

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

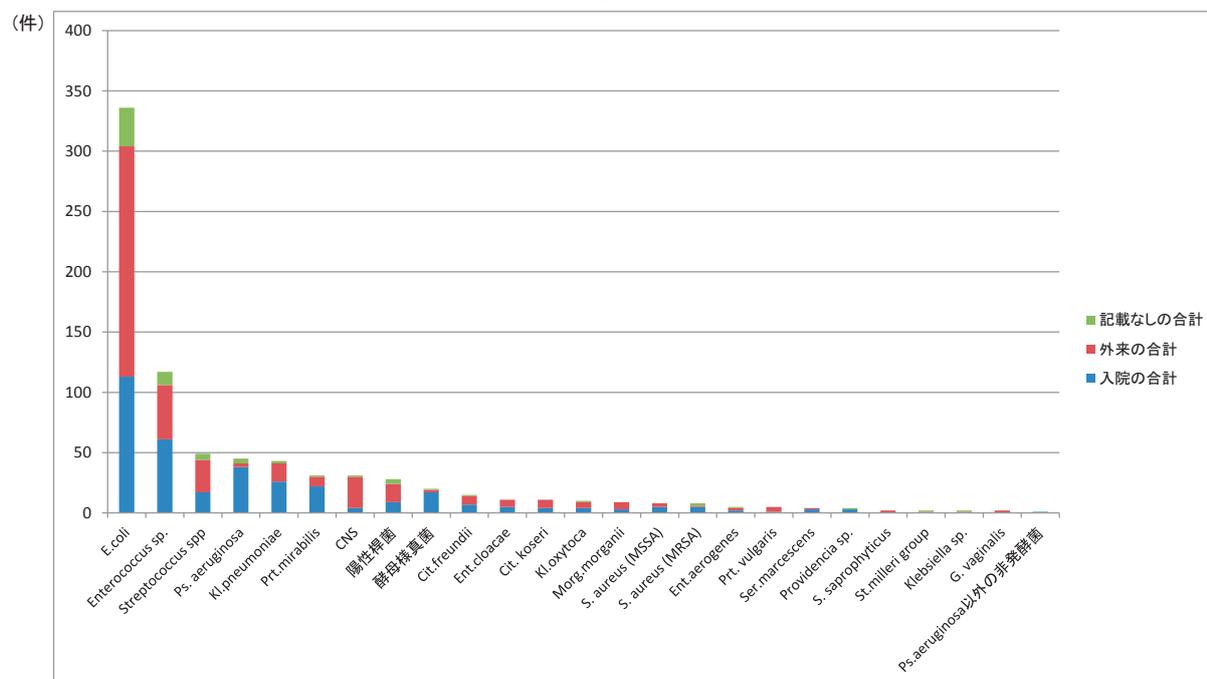
今月号から新たに、診断・治療にお役に立てるよう当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せてご覧いただけたら幸いです。

さて、今回は尿からの細菌検出状況と、尿で一番検出頻度が高く、近年耐性菌として注目されている E.coli（大腸菌）の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

2017年2月分

【尿】細菌検出状況 2017年02月



■上位検出菌

<外来>	<入院>
1. E.coli	1. E.coli
2. Enterococcus sp.	2. Enterococcus sp.
3. Streptococcus spp	3. Ps. aeruginosa

【細菌薬剤感受性情報】

2017年2月分

アンチバイオグラム（大腸菌）

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	54	13	33
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	43	3	54
	CMX	ペストコール	64	0	36
	CTX	セフォタックス	59	1	41
	CTRX	ロセフィン	69	0	31
	CAZ	モダシム	85	5	11
	CZOP	ファーストシン	71	10	19
	CFPM	マキシピーム	91	5	5
	CMZ	セフメタゾン	100	0	0
	FMOX	フルマリム	100	0	0
	セフェム系経口薬	CPDX	パナン	57	1
CFPN		フロモックス	58	3	39
CDTR		メイアクト	58	3	38
CFTM		トミロン	58	6	36
カルバペム系	IPM	チエナム	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	92	4	4
	ACV	オーグメンチン	79	14	7
	S/C	スルペラゾン	96	4	0
	T/P	ゾシン	100	0	0
アミグリコシド系	AMK	アミカシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	84	0	16
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	91	3	5
その他抗菌薬	FOM	ホスミシン	93	2	5
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	51	3	46
	TFLX	オゼックス	46	1	54
	GRNX	ジェエナック	52	4	44
	ST	バクタ	75	0	25

キノロン耐性が約半数です。2015～2016年と横ばい傾向です。

近年の ESBL 増加に伴いセフェム系・ペニシリン系耐性株が約半数を占めています。

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

前号まで掲載していた海外感染症情報については、厚生労働省検疫所ホームページをご覧ください。

<http://www.forth.go.jp/>